

圏央道インターチェンジ周辺地域の
乱開発抑止に向けた共同宣言

平成20年1月21日

圏央道は平成24年度の県内全線開通を目標に整備が進められており、この開通により企業立地ポテンシャルが飛躍的に高まることが期待される。

このチャンスを生かすため、埼玉県と沿線市町の協働、官民連携により、計画的に産業基盤づくりを進めているところである。

一方、圏央道沿線には県民の貴重な財産である豊かな自然環境、田園環境が広がっており、埼玉の原風景ともいえる地域を形成している。

このような中、開発ポテンシャルが高まるインターチェンジ周辺に資材置場や残土置場などの乱立、いわゆる乱開発という美しくない土地利用の出現が懸念される。

そこで、埼玉県及び圏央道沿線の市町は連携して以下の取組を実施し、沿線の緑豊かで美しい環境を地域の財産として次世代に責任を持って引き継いでいくことをここに宣言する。

- 1 啓発活動の展開により圏央道沿線の緑豊かな環境の保全や乱開発の抑止に向けた意識の向上に努める。
- 2 インターチェンジや新たに整備される産業団地周辺に重点的に乱開発を抑止する重点抑止エリアを定め、総合的な抑止策を展開する。
- 3 重点抑止エリアにおいて関係法令の厳格な運用に努めるとともに、監視活動の強化を図る。(農業振興地域の整備に関する法律、農地法、景観法、都市計画法等)
特に、エリア内の農振農用地については、乱開発につながる資材置場などへの転用を目的とした農振除外は行わないよう努める。

川越市長

舟橋功一

飯能市長

沢辺清孝

狭山市長

仲川章成

入間市長

木下博

桶川市長

岩崎正男

久喜市長

田中暄二

北本市長

石津賢治

坂戸市長

伊利仁

幸手市長

町田英夫

鶴ヶ島市長

藤縄善訓

日高市長

大沢章夫

川島町長

高田康男

騎西町長

若山勝彦

宮代町長

柳原一雄

白岡町長

濱田祐司

菫蒲町長

中山登司男

埼玉県知事

上田清司